

令和8年度 高冷地水稻生育速報(第4報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(7月16日調査)

	年度	草 丈		茎 数		葉 色				葉 齢		幼穂長 (cm)
		(cm)		(本/㎡)		葉色板		SPAD値				
たかやまもち	本年	71.9	(96%)	487	(100%)	4.9	(+0.0)	43.4	(+0.5)	11.8	(-0.1)	20.0cm
	前年	80.4		468		5.0		44.0		11.9		
	平年	75.2		487		4.9		42.9		11.9		
あきたこまち	本年	72.9	(97%)	467	(95%)	5.1	(+0.2)	45.7	(+2.2)	11.9	(+0.0)	19.8cm
	前年	82.5		451		4.9		43.9		11.1		
	平年	75.1		490		4.9		43.5		11.9		
ひだほまれ	本年	76.6	(95%)	300	(84%)	4.9	(+0.1)	41.4	(-1.3)	11.9	(-0.2)	6.8cm
	前年	82.3		273		4.9		42.1		11.9		
	平年	80.3		359		4.8		42.7		12.1		
ひとめぼれ	本年	69.7	(94%)	496	(90%)	4.8	(-0.0)	40.4	(-1.7)	11.6	(-0.1)	7.3cm
	前年	81.3		491		4.7		41.4		11.3		
	平年	73.9		552		4.8		42.1		11.7		
コシヒカリ	本年	76.4	(97%)	527	(101%)	4.6	(-0.1)	37.4	(-4.7)	11.7	(+0.1)	4.0cm
	前年	80.2		488		5.0		41.7		11.4		
	平年	79.1		523		4.7		42.1		11.6		

栽培条件：移植5月15日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a 穂肥N=0.3kg/a

平 年 値：過去5年間(R3年～R7年)の平均値
()内の数値は対平年値

2. 気象状況と当面の管理

1)気象概況

7月上旬の平均気温は平年より高く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より長かった。

2)生育概況

生育は平年と比較して、草丈は平年並～やや低く、茎数は平年並～やや少ない。葉色値は早生品種は平年より高く、中生品種は平年より低い。葉齢は平年並である。

「コシヒカリ」は7月16日に幼穂4cm程度となり、出穂は7月31日頃となる見込みである。「コシヒカリ」の平年の出穂期は8月1日で、今年度の出穂は平年より早いと考えられる。

3)病害虫等の発生状況

イネドロオイムシの発生がみられる。

4)今後の管理

穂肥施用は出穂の18日前の幼穂1cm時(たかやまもちは21日前)を目安に行う。当所においては下記のように穂肥施用を行った。

「たかやまもち」	7/3	(出穂予測:7/21頃	平年:7/23)
「あきたこまち」	7/3	(出穂予測:7/21頃	平年:7/24)
「ひだほまれ」	7/9	(出穂予測:7/29頃	平年:7/28)
「ひとめぼれ」	7/16	(出穂予測:7/29頃	平年:7/29)
「コシヒカリ」	7/16	(出穂予測:7/31頃	平年:8/1)

令和8年(2026年)の気象図

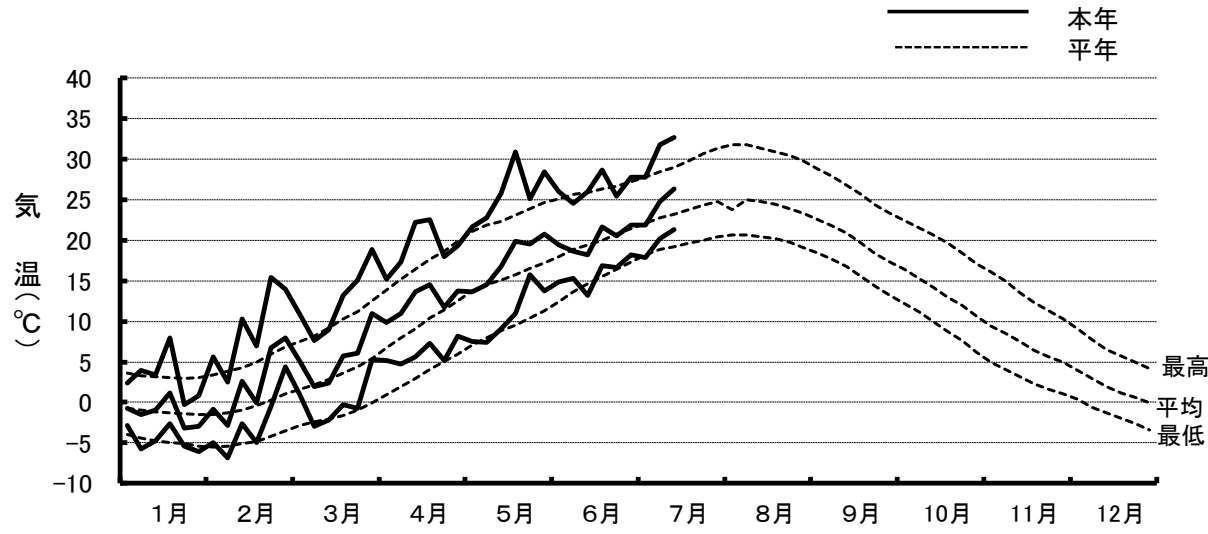


図1 本年度の半旬別気温の推移(高山市)

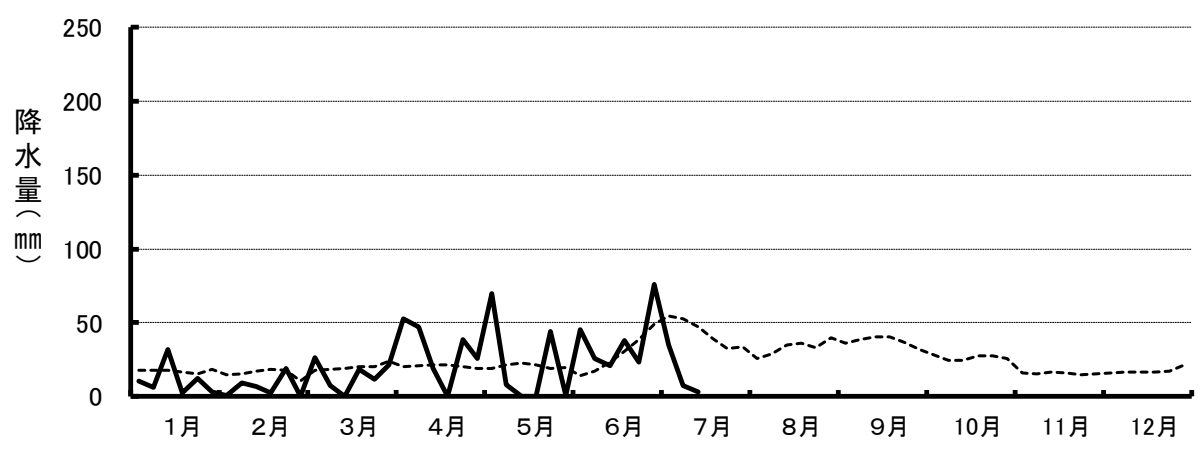


図2 本年度の半旬別降水量の推移(高山市)

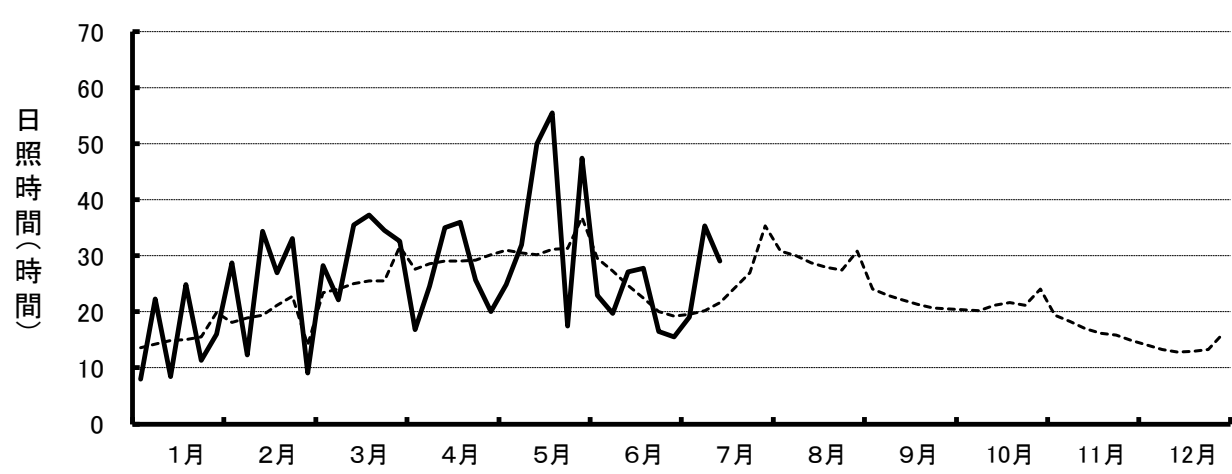


図3 本年度の半旬別日照時間の推移(高山市)

データ: 高山特別地域気象観測所